

平成 2 5 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1 集落協定の概要

都道府県名：愛媛県

市町村名：松山市

協定締結集落名：二神集落

交付金額：5, 3 0 4 千円

協定参加世帯数：3 9 人（うち漁業世帯 3 9 人）

2 協定締結の経緯

二神集落は、豊富な魚介類が生息する屈指の好漁場を有し、一本釣り漁業、刺し網漁業、たこつぼ漁業、採介藻漁業などが盛んに行われており、漁業は島の基幹産業となっている。

しかし、近年は、漁業者の減少や高齢化が進行している。また、魚価の低迷に加え燃料費の高騰により、離島の漁業集落を取り巻く環境は厳しい状況におかれている。

こうしたことから、沿岸漁業資源の維持・拡大、漁場環境の保全、定置網漁業に取り組むなど、漁業集落の活性化や所得の向上を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・クロアワビの種苗を中間育成後に放流することで、地先資源保護を図った。
(2,000 個)
- ・アカウニの放流を実施し資源の保護育成を図った。(10,000 個)
- ・環境の保全と土砂の流出を防ぐために植樹後の維持管理を図った。(年間 2 回)
- ・密漁や違反操業又は違反漁具の使用等から地先資源の保護及び漁具の保全を図るため、漁場監視を行った。(年間 4 回)

②集落の創意工夫を活かした取組状況

- ・昨年度より新たな漁法として実施している定置網漁に共同で取り組んだ。
- ・所得の向上と集落の活性化を図るため、水産物の簡易加工（グチ・エソ干物、乾燥ヒジキ、乾燥ワカメ）に共同で取り組み販売を行った。

4 取組の成果

- ・アワビの種苗を中間育成したことにより、地先での歩留まりの向上や早期の収穫が期待された。
- ・アカウニの種苗を放流したことにより資源の増大が期待される。
- ・定置網の漁法を導入したことにより収益の向上が図られ集落の活性化に繋がった。
- ・ヒジキやワカメの等の簡易加工を共同で取り組むことで漁家の収入安定に繋がった。
- ・植林後の維持管理により土砂の流出や、沿岸海域への栄養分の供給ができ漁場生産力の向上が図れた。
- ・漁場監視を実施することにより、違反操業の減少に繋がった。

種苗放流	植樹・魚つき林の整備
	
漁場監視	定置網
	
ヒジキの簡易加工	ワカメの簡易加工
	